

(5) 東播磨地区ケース①（防潮門扉等一部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤あり）

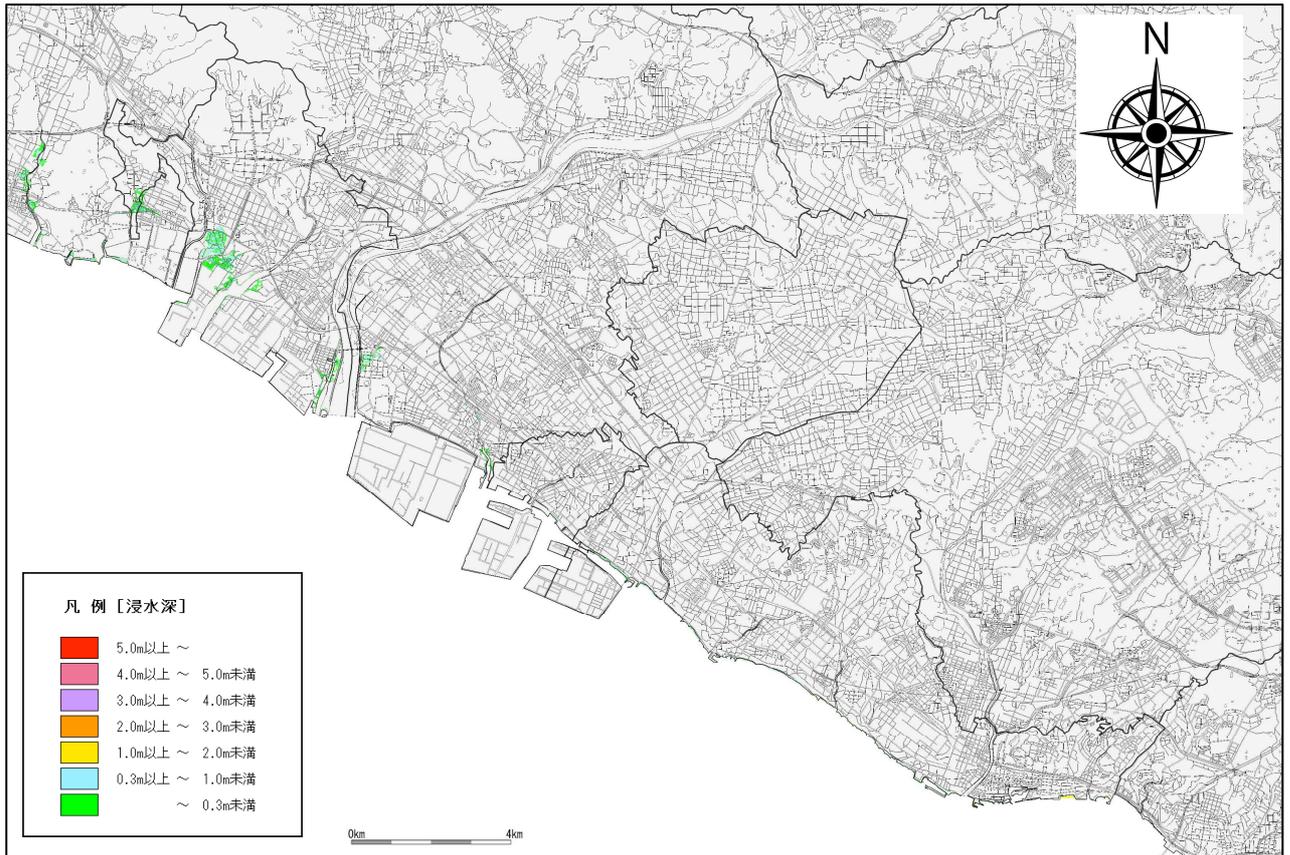


図 2.1.8 最大浸水深分布図（東播磨地区ケース①）

(6) 東播磨地区ケース②（防潮門扉等全部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤なし）

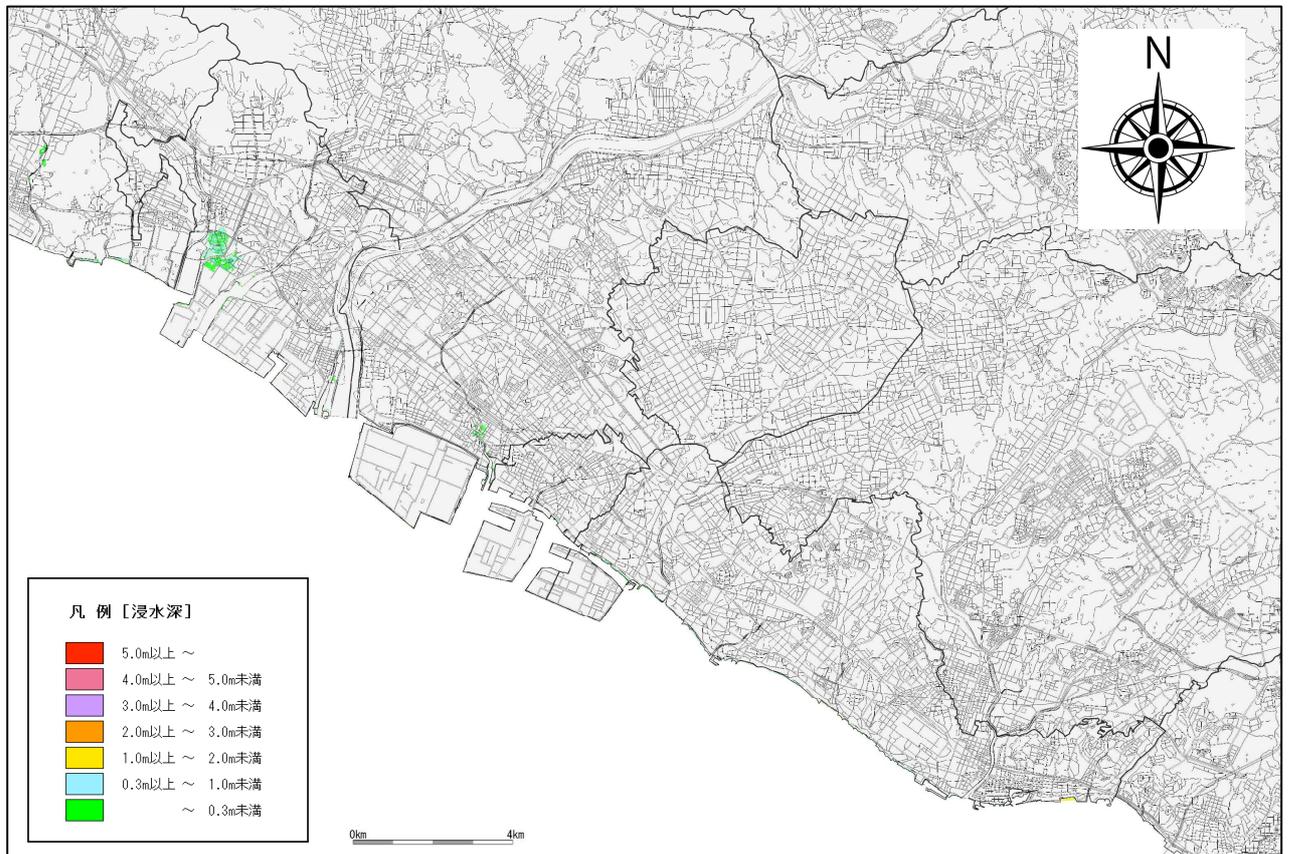


図 2.1.9 最大浸水深分布図（東播磨地区ケース②）

(7) 中播磨地区ケース①（防潮門扉等一部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤あり）

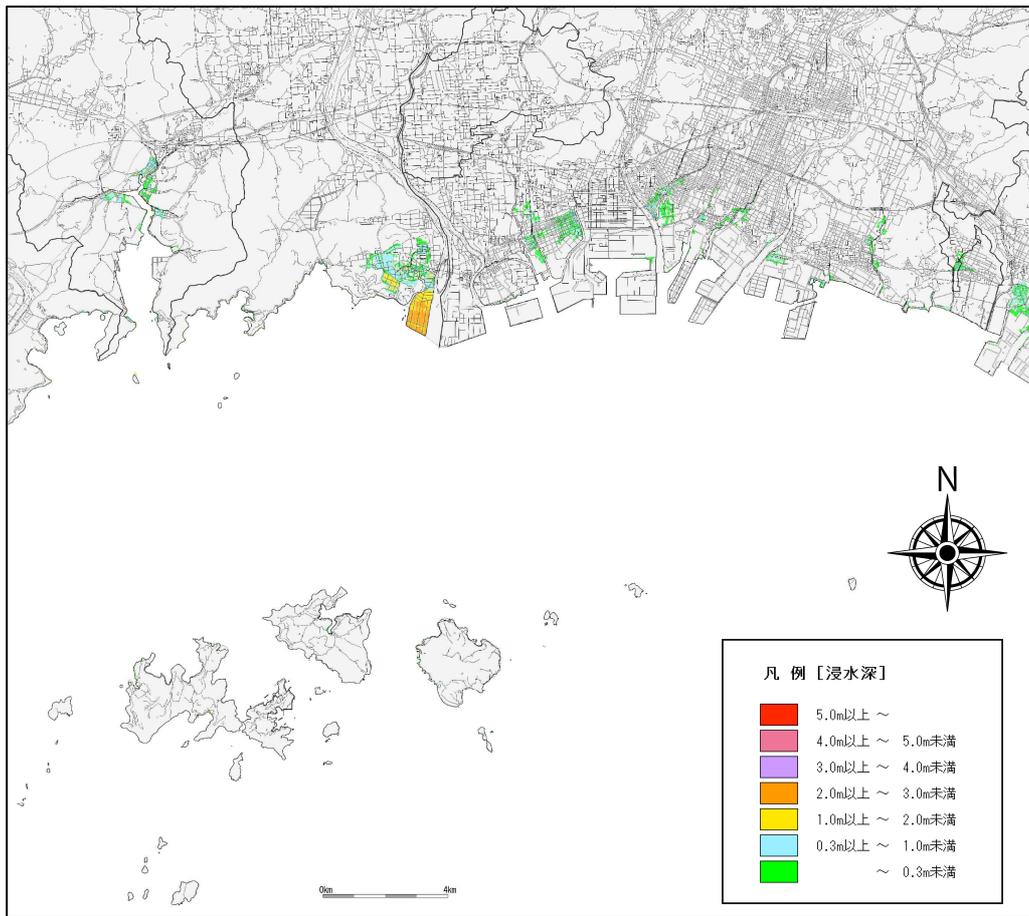


図 2.1.10 最大浸水深分布図（中播磨地区ケース①）

(8) 中播磨地区ケース②（防潮門扉等全部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤なし）

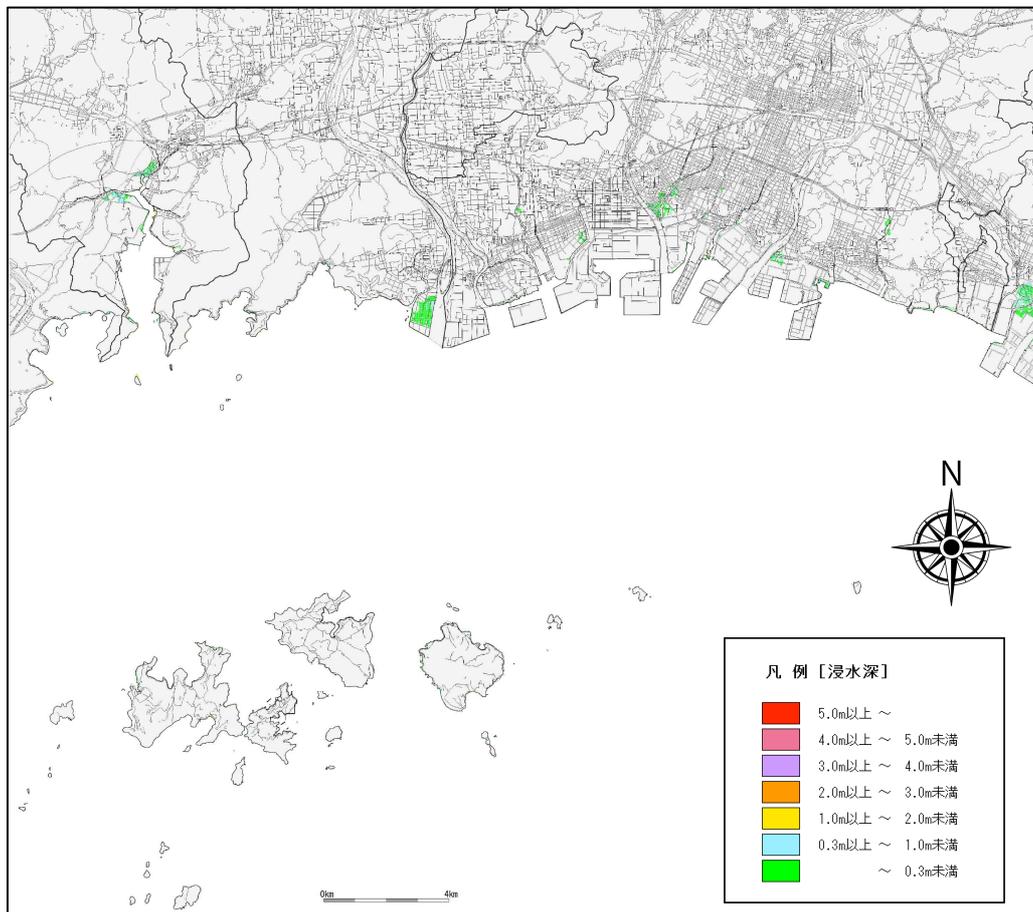


図 2.1.11 最大浸水深分布図（中播磨地区ケース②）

(9) 西播磨地区ケース① (防潮門扉等一部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤あり)

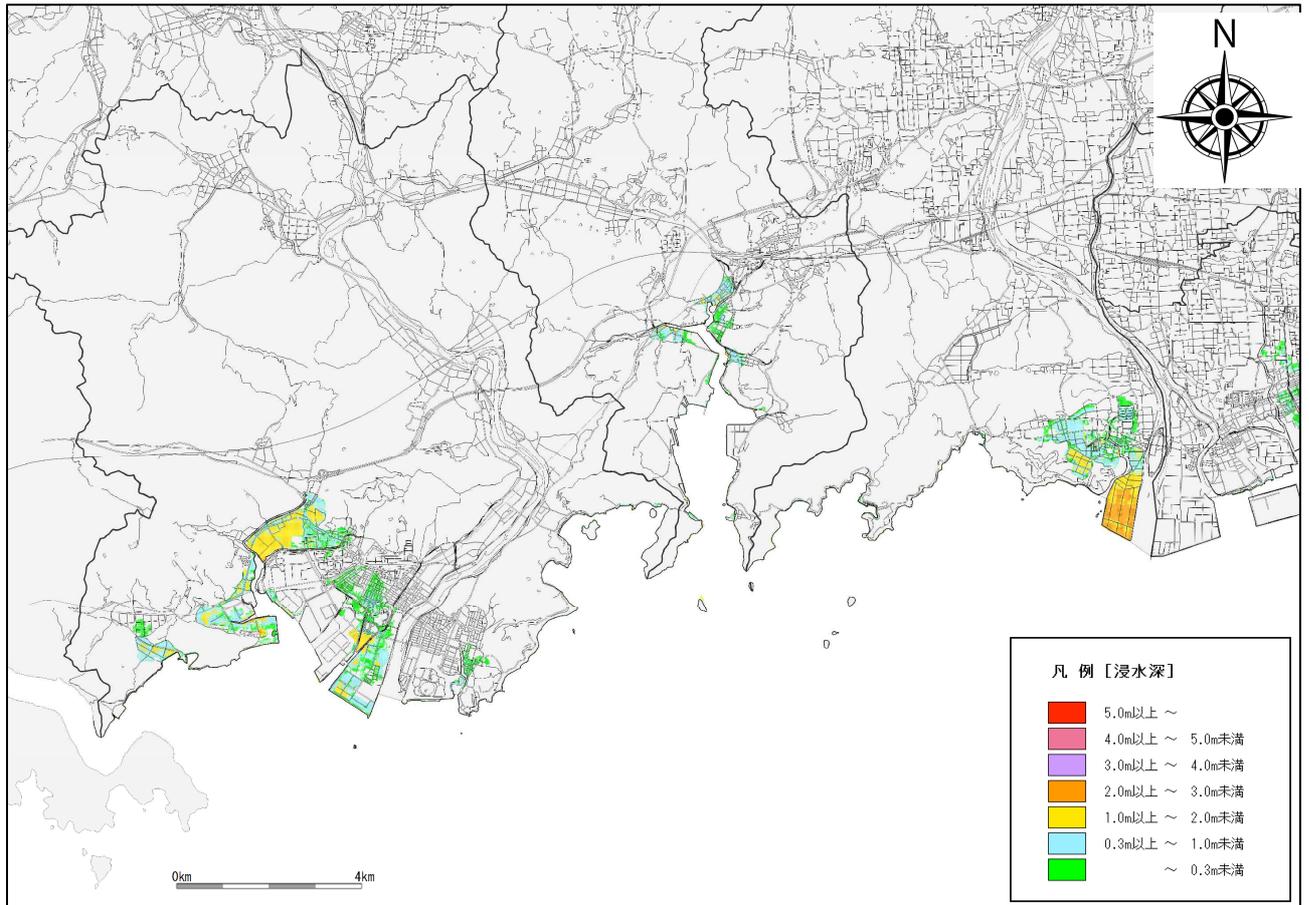


図 2.1.12 最大浸水深分布図 (西播磨地区ケース①)

(10) 西播磨地区ケース② (防潮門扉等全部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤なし)

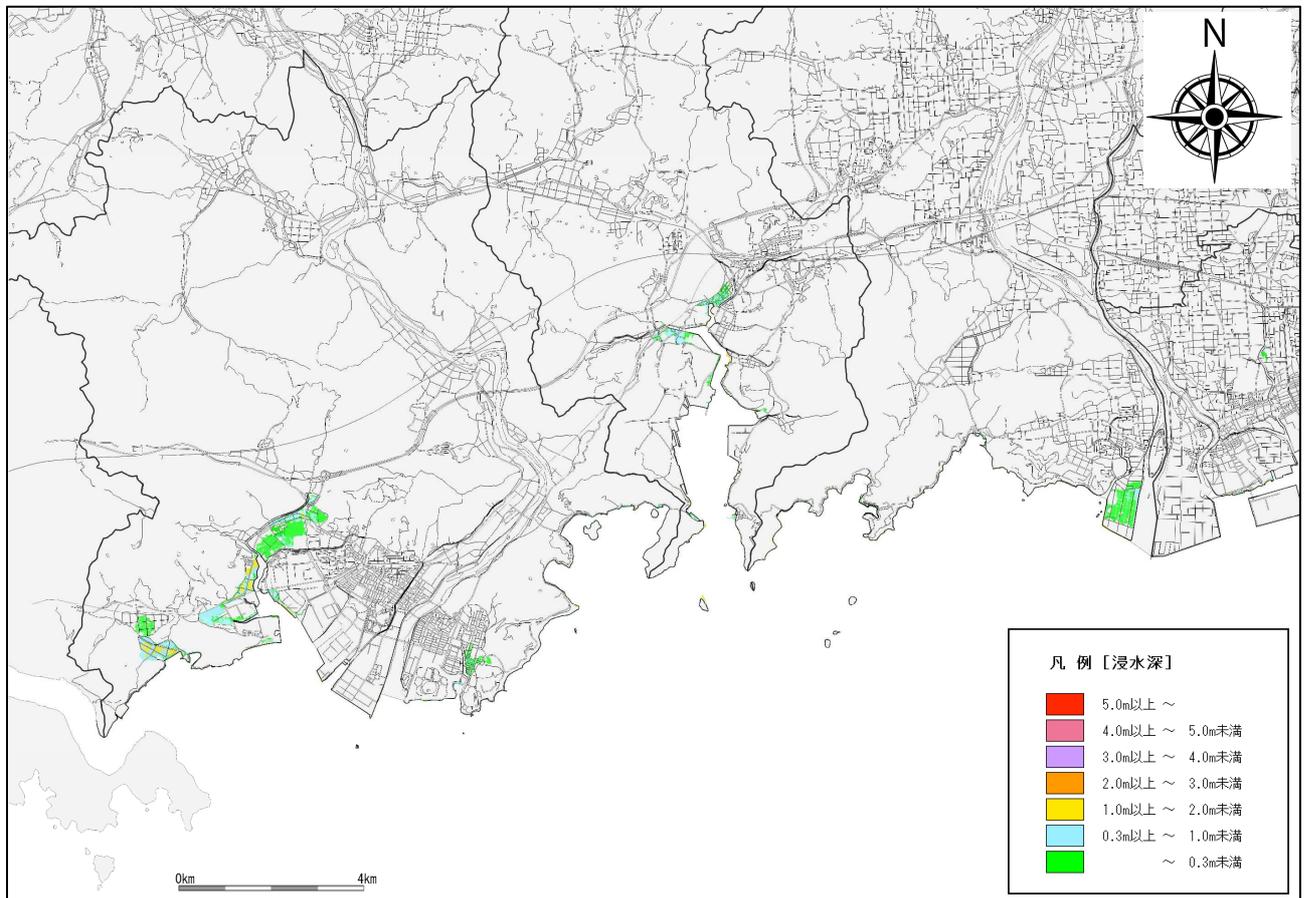


図 2.1.13 最大浸水深分布図 (西播磨地区ケース②)

(11) 淡路地区ケース① (防潮門扉等一部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤あり)

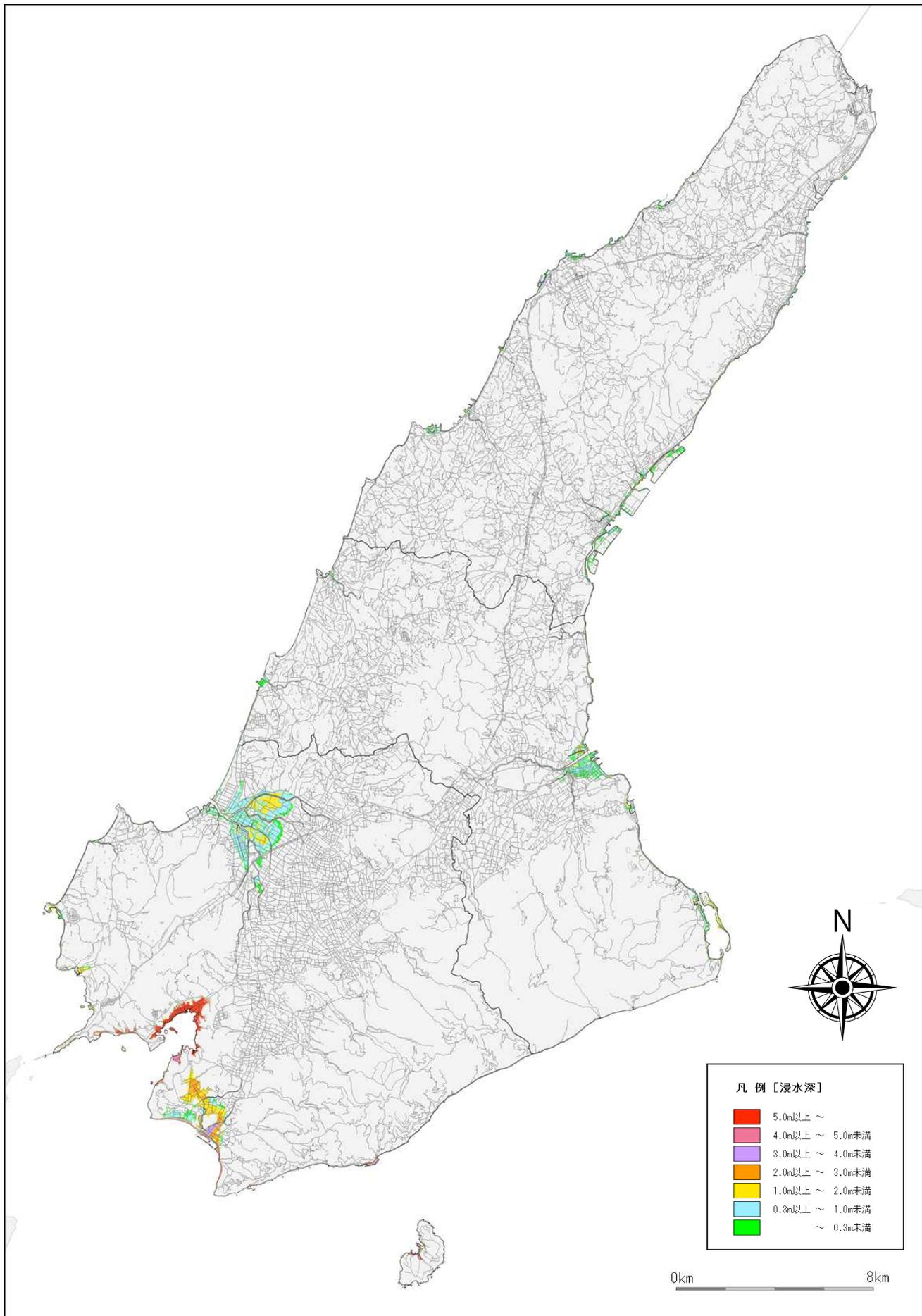


図 2.1.14 最大浸水深分布図 (淡路地区ケース①)

(12) 淡路地区ケース② (防潮門扉等全部閉鎖、津波が堤防を越流した場合破堤なし)

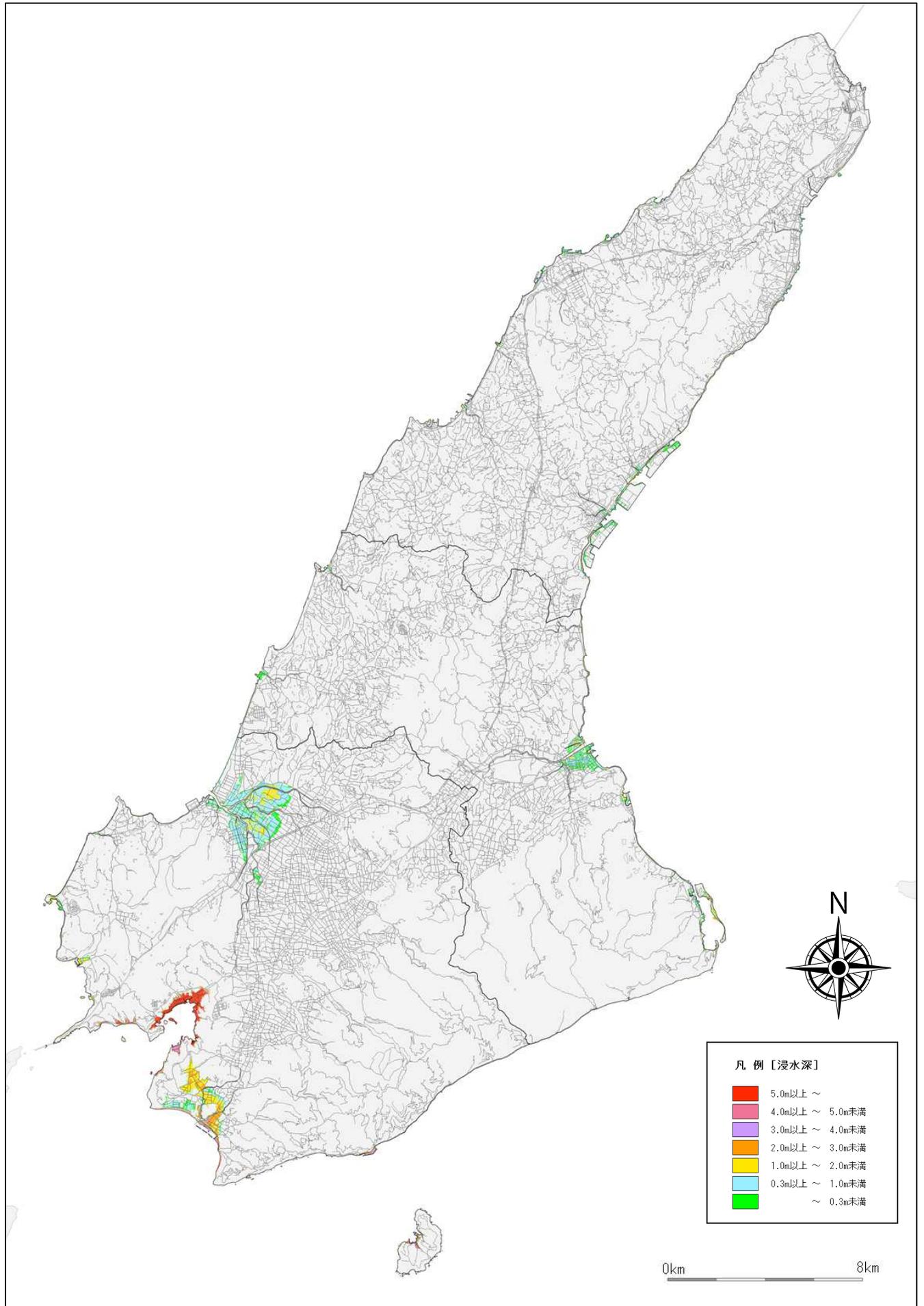


図 2.1.15 最大浸水深分布図 (淡路地区ケース②)

2.2 被害想定シーンの設定

想定される被害が異なる3種類の特徴的なシーン（季節・時刻）を設定。

風速については、延焼速度が急激に速くなり、建物被害による閉じ込めや逃げ遅れによる焼死者が激増する風速6m/s以上のシーンを設定。

表 2.2.1 被害想定シーン

発災季節・時刻	特 徴
冬の早朝5時	多くの人自宅就寝中に被災。家屋倒壊による人的被害の危険性が高く、津波からの避難が遅れる可能性がある。建物倒壊、屋内収容物移動・転倒等自宅での被災による人的被害が最大となる時間帯。
夏昼間12時	木造建物内の滞留人口が一日の中で最も少ない時間帯。通勤・通学者が多く集まり、休日には多くの海水浴客も存在する時間帯。
冬の夕方18時	最も火気の使用が多く、火災の危険度が高い季節・時間帯。